

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Amp'd® ELISA シグナル増幅キット
製品番号 : ENZ-KIT-100-0001, ENZ-KIT-100-0005 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : AMP'D Substrate Diluent
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品法務部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性:区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1

皮膚感作性:区分 1

発がん性:区分 1A

生殖毒性:区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2(肝臓、中枢神経系、呼吸器)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2(肝臓、中枢神経系)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ(肝臓、中枢神経系、呼吸器)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓、中枢神経系)

水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けすること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けすこと。

直ちに医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

慣用名又は別名：エタノールアミン(2-アミノエタノール); エチルアルコール(エタノール)

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
2-アミノエタノール	9.9	141-43-5	2-301
エタノール	9.9	64-17-5	2-202
アジ化ナトリウム	0.09	26628-22-8	1-482

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

2-アミノエタノール，エタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

2-アミノエタノール，エタノール

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

2-アミノエタノール

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

火気に注意する。適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

腐食性/刺激性製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(注意事項)

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱い注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

保管**安全な保管条件**

容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。4°Cで保存すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値：データなし

許容濃度

(2-アミノエタノール)

日本産衛学会(1965) 3ppm; 7.5mg/m³

(2-アミノエタノール)

ACGIH(1985) TWA: 3ppm;
STEL: 6ppm (眼及び皮膚刺激)

(エタノール)

ACGIH(2009) STEL: 1000ppm (上気道刺激)

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1996) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m³; (アジ化水素酸の蒸気として)
0.11ppm (心臓障害; 肺損傷)

ばく露防止**設備対策**

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具**呼吸用保護具**

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性、長袖の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：データなし

臭い：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
引火点：データなし
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
pH：データなし
動粘性率：データなし
蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光、熱、火気、静電気

混触危険物質

強酸、強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[NITE-CHRP]

(2-アミノエタノール)

ラット LD50: 3320 mg/kg (出典: NITE)

(エタノール)

ラット LD50: 7000 – 11000 mg/kg (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

ラット LD50: 45 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[NITE-CHRP]

(2-アミノエタノール)

ウサギ LD50: 1018 mg/kg (出典: NITE)

(エタノール)

ウサギ LDLo: 20000 mg/kg (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

ウサギ LD50: 20 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[NITE-CHRP]

(エタノール)

蒸気: ラット LC50: 63000 ppmV (出典: NITE)

労働基準法: 疾病化学物質

アジ化ナトリウム**局所効果****皮膚腐食性/刺激性****[製品]**

区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

[成分データ]

[NITE-CHRIPI]

(2-アミノエタノール)

区分 1A (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

区分 1 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**[製品]**

区分 1, 重篤な眼の損傷

[成分データ]

[NITE-CHRIPI]

(2-アミノエタノール)

区分 1 (出典: NITE)

(エタノール)

区分 2B (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

区分 1 (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性****[製品]**

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIPI]

(2-アミノエタノール)

区分 1 (出典: NITE)

生殖細胞変異原性：データなし**発がん性****[製品]**

区分 1A, 発がんのおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIPI]

(エタノール)

区分 1A (出典: NITE)

[IARC]

(エタノール)

Group 1 : ヒトに対して発がん性がある

[ACGIH]

(エタノール)

A3(2009) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(アジ化ナトリウム)

A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性**[製品]**

区分 1A, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIPI]

(エタノール)

区分 1A (出典: NITE)

催奇形性：データなし

特定標的臓器毒性**特定標的臓器毒性(単回ばく露)****[製品]**

区分 2. 臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRP]

(2-アミノエタノール)

区分 1(肝臓、中枢神経系、呼吸器)、区分 3(麻醉作用)(出典: NITE)

(エタノール)

区分 3(気道刺激性)、区分 3(麻醉作用)(出典: NITE)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)**[製品]**

区分 2. 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRP]

(2-アミノエタノール)

区分 1(中枢神経系)、区分 2(呼吸器)(出典: NITE)

(エタノール)

区分 1(肝臓)、区分 2(中枢神経系)(出典: NITE)

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報**生態毒性****水生環境有害性****[製品]**

区分 3. 水生生物に有害

[成分データ]**水生環境有害性 短期(急性)**

[NITE-CHRP]

(2-アミノエタノール)

藻類(セレナストラム) 72時間 ErC50: 2.5 mg/L (出典: NITE)

(エタノール)

藻類(クロレラ) 96時間 EC50: 1000 mg/L (出典: NITE)

甲殻類(オオミジンコ) 48時間 EC50: 5463 mg/L (出典: NITE)

魚類(ニジマス) 96時間 LC50: 11200 ppm (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) 96時間 ErC50: 348 μg/L (出典: NITE)

水生環境有害性 長期(慢性)

[NITE-CHRP]

(エタノール)

甲殻類(ニセネコゼミジンコ属の一種) 10日間 NOEC: 9.6 mg/L (出典: NITE)

水溶解度

(2-アミノエタノール)

自在に溶ける(出典: ICSC, 2019)

(エタノール)

混和する(出典: ICSC, 2018)

(アジ化ナトリウム)

41.7 g/100 mL (17°C) (出典: ICSC, 2014)

残留性・分解性**[成分データ]**

(2-アミノエタノール)

急速分解性あり(分解度: 83% (by BOD)) (出典: NITE)

(エタノール)

急速分解性あり（分解度：89% (by BOD)）（出典：NITE）
(アジ化ナトリウム)

急速分解性なし（分解度：1% (by HPLC)）（出典：NITE）

生体蓄積性

[成分データ]

(2-アミノエタノール)

log Pow: -1.31 (出典: NITE)

(エタノール)

log Pow: -0.32 (出典: ICSC, 2018)

(アジ化ナトリウム)

log Pow: < 0.3 (出典: NITE)

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：2924

品名(国連輸送名)：その他の引火性液体、腐食性、N.O.S.(2-アミノエタノール、エタノール含有液)

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：3

副次危険：8

容器等級：III

指針番号：132

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類) 2-アミノエタノール

有害液体物質(Z類) エタノール

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法：引火性液体類 分類3

航空法：引火性液体 分類3

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物

2-アミノエタノール(別表第9の21); エタノール(別表第9の61)

名称等を通知すべき危険/有害物

2-アミノエタノール(別表第9の21); エタノール(別表第9の61)

別表第1 危険物（第1条、第6条、第9条の3関係）

危険物・引火性の物 (30°C ≤ 引火点 < 65°C)

皮膚等障害化学物質（規則第594条の2）

2-アミノエタノール

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

2-アミノエタノール(9.9%)[2-アミノエタノール(9.9%)]

消防法：非該当

化審法

優先評価化学物質

2-アミノエタノール(通し番号107 人健康影響/生態影響)

大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項

2-アミノエタノール; エタノール

16. その他情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)

IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Amp'd® ELISA シグナル増幅キット
製品番号 : ENZ-KIT-100-0001, ENZ-KIT-100-0005 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : AMP'D Amplifier diluent
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品法務部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

生殖毒性:区分 1B

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の區別 : 混合物

慣用名又は別名 : 2-メトキシエタノール(エチレングリコールモノメチルエーテル)

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
エチレングリコールモノメチルエーテル	0.99	109-86-4	2-405
アジ化ナトリウム	0.09	26628-22-8	1-482

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

エチレングリコールモノメチルエーテル

安衛法「通知すべき有害物」該当成分
エチレングリコールモノメチルエーテル

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消防を行う者の保護

消防作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

皮膚や眼との接触や吸入を避けること。

安全取扱注意事项

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。4°Cで保存すること。

容器を密閉して、涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び濃度基準値

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

作業環境評価基準 0.1ppm

許容濃度

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

日本産衛学会(2009) 0.1ppm; 0.31mg/m³ (皮)

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

ACGIH(2006) TWA: 0.1ppm (血液学的影響; 生殖影響)

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1996) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m³; (アジ化水素酸の蒸気として)

0.11ppm (心臓障害; 肺損傷)

[ACGIH] 特記事項

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性、長袖の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：データなし

臭い：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光、熱

混触危険物質

強酸化性物質、強還元性物質

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[NITE-CH RIP]

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

ラット LD50: 2370 - 5490 mg/kg (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

ラット LD50: 45 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[NITE-CH RIP]

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

ウサギ LD50: 1280 mg/kg (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

ウサギ LD50: 20 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[NITE-CH RIP]

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

蒸気: ラット LC50: 16000 mg/m³ (4時間) (出典: NITE)

労働基準法: 疾病化学物質

エチレングリコールモノメチルエーテル; アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[NITE-CH RIP]

(アジ化ナトリウム)

区分 1 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[NITE-CH RIP]

(アジ化ナトリウム)

区分 1 (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性: データなし

生殖細胞変異原性: データなし

発がん性**[成分データ]**

[ACGIH]

(アジ化ナトリウム)

A4(1996)：ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性**[製品]**

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRI]

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

区分 1B (出典: NITE)

催奇形性：データなし**特定標的臓器毒性****特定標的臓器毒性(単回ばく露)****[成分データ]**

[NITE-CHRI]

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

区分 3 (気道刺激性), 区分 3 (麻醉作用) (出典: NITE)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし**誤えん有害性：データなし**

12. 環境影響情報**生態毒性****水生環境有害性****[成分データ]****水生環境有害性 短期(急性)**

[NITE-CHRI]

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

魚類 (メダカ) 96時間 LC50: > 88.9 mg/L (出典: NITE)

甲殻類 (オオミジンコ) 48時間 EC50: > 84.8 mg/L (出典: NITE)

藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) 72時間 ErC50: > 93.2 mg/L (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) 96時間 ErC50: 348 μg/L (出典: NITE)**水生環境有害性 長期(慢性)**

[NITE-CHRI]

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

甲殻類 (オオミジンコ) 21日間 NOEC: > 84.8 mg/L (出典: NITE)

藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) 72時間 NOErC: >= 93.2 mg/L (出典: NITE)**水溶解度**

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

1000000 mg/L (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

41.7 g/100 mL (17°C) (出典: ICSC, 2014)

残留性・分解性**[成分データ]**

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

急速分解性あり (分解度: 73, 82, 94% (by BOD)) (出典: NITE)

(アジ化ナトリウム)

急速分解性なし (分解度: 1% (by HPLC)) (出典: NITE)

生体蓄積性**[成分データ]**

(エチレングリコールモノメチルエーテル)

log Pow: -0.503 (出典: ICSC, 2003)

(アジ化ナトリウム)

log Pow: < 0.3 (出典: NITE)

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物

エチレングリコールモノメチルエーテル(別表第9の80)

名称等を通知すべき危険/有害物

エチレングリコールモノメチルエーテル(別表第9の80)

皮膚等障害化学物質（規則第594条の2）

エチレングリコールモノメチルエーテル

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法

優先評価化学物質

エチレングリコールモノメチルエーテル(通し番号23 人健康影響)

大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項

エチレングリコールモノメチルエーテル

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質

エチレングリコールモノメチルエーテル

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Amp'd® ELISA シグナル増幅キット
製品番号 : ENZ-KIT-100-0001, ENZ-KIT-100-0005 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : ①AMP'D Substrate
 ②AMP'D Amplifier
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品法務部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の區別 : 混合物

成分 : NADPH, D-(+)-トレハロース 二水和物(CAS RN®: 6138-23-4)(①)、
Alcohol dehydrogenase, Diaphorase, D-(+)-トレハロース 二水和物(②)

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火を行う者の保護
消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。粉じんが飛散しないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

皮膚や眼との接触や吸入を避けること。

安全取扱注意事項

取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

保管

安全な保管条件

4°Cで保存すること。

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：凍結乾燥品

色：データなし
臭い：データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
引火点：データなし
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
pH：データなし
動粘性率：データなし
蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。